

9月 学校だより

尼崎市立成徳小学校
令和2年8月31日(月)

成徳小の次の一手

校長 島多峰史



暦の上では秋になっていますが、2学期が始まってからも暑い日々が何日も続きました。

保護者の皆様に、心より残暑お見舞いを申し上げます。

夏を連想する花といえば、アサガオ(俳句の季節を表す「季語」では秋)やヒマワリなどが代表的な花として思い出されますが、2学期始業式での校長の話の中では、今から70年前に作られた「夏の思い出」という歌にちなんで、ミズバショウの花を紹介しました。その歌は、尾瀬(群馬県・福島県・新潟県にまたがる高原)で生息するミズバショウの花のことを、夏が来たら思い出すという内容ですが、残念ながら、夏の暑い時期にはミズバショウは咲きません。兵庫県養父市では、ミズバショウを市の花に制定していますが、4月下旬から5月上旬に咲くそうです。少しでも涼しい気候を連想してもらえばという願いがあって、この花のことを取り上げましたが、もしかしたら「焼け石に水」だったかもしれません。

8月20日に実施された5年生の自然学校保護者向け説明会では、成徳小学校の森について、校長挨拶の中で話しました。植物は根から吸い上げた水の大部分を葉の表面から水蒸気として放出する「蒸散」をすることを6年生の理科の授業で学習します。注射の前にはエタノール消毒した場所が冷たく感じられるように、液体の水が水蒸気に変化するときに、必ず周囲の熱を奪います。蒸散の目的は気温を下げることではありませんが、成徳小学校の森のたくさんの木々は気温を下げることにたいへん貢献していることを、もっと地域の方々にアピールしても良いかもしれません。

昨年度の成徳小学校ではミンミンゼミが鳴いていたことも保護者説明会で紹介しました。ミンミンゼミは生息できる温度範囲が限られており、西日本では山間部では珍しくありませんが、都市部では通常、確認ができません。しかし、成徳小学校ではミンミンゼミが生息しており、成徳小の森が気温を下けている証拠にもなります。今年は異常に高温が続いているので、さすがのミンミンゼミも今年は鳴くのを敬遠しているのかと思いきや、私のミンミンゼミへの思いが通じたようで、説明会の次の日、8月21日の朝に今年も鳴き声を確認することができました。

さて、例年であれば、5年生の自然学校では、4泊5日の日程で校外の施設へ出かけて自然体験活動を行います。しかし、本年度は新型コロナウイルスの関係で、1日限りの実施となりました。現在、尼崎市内の各学校において、どの施設に出かけて行ってどのような体験活動を実施するかを検討しています。

成徳小学校では他校とは異なり、すべて校内で自然体験を行う計画を立てています。自然学校の保護者説明会が行われた日は、ちょうど将棋の王位戦が行われており、藤井聡太八段の封じ手が他の棋士は絶対に選択しない一手から始まって、見事に勝利をして話題になった日でした。

成徳小学校も、今年自然学校では、他のどの学校も選択しない一手を打ちます。5年生の保護者だけではなく、他の学年の保護者の皆様も、今後も引き続き成徳小学校への応援をよろしくお願い申し上げます。



柿の葉、数枚に6匹分のぬけがら

<9月の行事予定>

※9月1日から朝ピカ活動開始

月	火	水	木	金
	1 内科検診 (わ・3~6年)	2	3	4 内科検診 (わ・1・2年)
7 朝会 クラブ① 諸費振替①	8 心臓検診 (わ・1・4年)	9	10	11
14	15 眼科検診 (わ・1・3・5年)	16	17 耳鼻科検診 (わ・2・4・6年)	18
21 敬老の日 教育実習開始	22 秋分の日 自然学校 (5年生)	23 5年生代休日 臨時朝会	24 耳鼻科検診 (わ・1・3・5年)	25
28	29 眼科検診 (わ・2・4・6年)	30		

<10月の主な行事> 7日(水) 心の教育講演会・オリエンテーリング(オープンスクール)
9日(金) オリエンテーリング予備日 13日(火) 就学時健診
19日(月)~23日(金) 個人懇談

